

平成27年7月31日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(依頼者)

〒571-8686

住所 大阪府門真市大字門真1048番地

事業者名 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

担当者所属 エイジフリービジネスユニット 事業推進グループ

担当者名 松尾 光晴

電話番号 06-6908-8141

電子メールアドレス matsuo.mitsu@jp.panasonic.com

専門職によるアドバイス支援事業 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う、介護ロボット等の「専門職によるアドバイス支援事業」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの福祉用具・介護ロボットの開発実績がわかる書類（任意様式）
※実績がない場合は、提出不要

(書類の取り扱い等について)

- ご提出いただく「専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- 「専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- 依頼する案件について、適切なアドバイスが行える介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知ください。

専門職によるアドバイス支援事業 依頼概要書

1. 事業の種類 (いずれか希望する方に○印を付けるか、事務局までご相談ください。)

1. 介護職員等との意見交換	
2. 専門職によるアドバイス支援	○

2. 依頼者の概要

企業名	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 エイジフリービジネスユニット	
担当者名	事業推進グループ 松尾 光晴	
担当者連絡先	住所	〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地
	電話	06-6908-8141
	電子メールアドレス	matsuo.mitsu@jp.panasonic.com
主たる業務	介護関連商品の製造販売および介護サービス事業の展開	
主要な製品	介護ベッド、排泄入浴用品、リハビリ機器	
希望する施設等の種類・職種等	認知症に関して積極的に取り組んでいる介護・医療関連の公的な施設 作業療法士等	
その他	東京・埼玉・神奈川・京阪神付近の施設を希望	

3. 機器開発コンセプトあるいは試作機の概要 (可能な範囲でご記入ください)

機器の名称 (仮称)	記憶ナビ (仮称)、回想タブレット (仮称)	
試作機の有無及び機器のコンセプト (試作機あれば写真を添付)	試作機の有無	①. 有り ・ 2. 無し
	機器の目的及び特徴 認知症状による記憶・見当識障害をタブレット端末などのIT機を活用して支援することにより、軽度認知症患者の生活支援と重度化防止および介護者の負担軽減を目的とする。 また、回想写真等による被介護者とのコミュニケーションの促進を行う。	
想定する使用者及び使用方法、使用環境	使用者、使用方法、使用環境 使用環境はサ高住や有料老人ホームを想定。介護者が定期的に介護者用端末(PC、タブレットなど)を用いて実施済みの項目や予定等を登録、被介護者は被介護者用端末(タブレット、小型液晶装置、ペンダント装置など)を用いて、それらの情報を閲覧、確認することで記憶を補助する。	
現在の開発状況と課題	ソフトウェアを開発中。今後、介護者が手間無く入力できるか、被介護者が表示を理解し確認できるGUIになっているか、想定シーンが現実的であるかどうか等の検証が必要。	
特にアドバイス(意見交換)を希望している事項	コンセプトの方向性が現場で使われうるものであるか? GUIが使い勝手の良いものであるか? 開発中の機器が使われる想定シーンが他にもあるかどうか等のアドバイスをお願いしたい。	
その他		

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください

事業概要

1. パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 エイジフリービジネスユニットの事業概要

エイジフリー事業組織図



「エイジフリー」とは、パナソニックの介護事業のコンセプトです。

パナソニックでは、「バリアフリー」「ストレスフリー」
「ケアフリー」の3つのフリーを「エイジフリー」として掲げ、商品や
サービスの提供を通じて生涯にわたっての
快適な暮らしのお手伝いをいたします。



高齢者と、その家族の快適。
**パナソニックの
エイジフリー。**

エイジフリーは、パナソニックの登録商標です。



エイジフリーの事業理念

私たちは、高齢者とそのご家族に、こころに届く最適な商品・サービスを提供し、
「ゆとりある笑顔のある暮らし」の実現をお手伝いすることで社会に貢献します。

2. 当ビジネスユニットの事業領域

エイジフリーの事業領域



2014年9月24日

国際福祉機器展に参考出品

ベッドからの移動を支援する「自立支援型起立歩行アシストロボット」と
ベッドの上の状態を見守る「みまもりシステム」を開発

2016年度発売予定



自立支援型起立歩行アシストロボット



みまもりシステム画面イメージ

品名	自立支援型起立歩行アシストロボット
発売予定日（年度）	2016年度
品名	みまもりシステム
発売予定日（年度）	2016年度

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、ベッドからの起立と歩行を支援する「自立支援型起立歩行アシストロボット」とサービス付き高齢者住宅などでの各居室の高齢者の動作状況を検知する「みまもりシステム」の2製品を開発しました。2016年度中の製品化と発売を目指します。

なお、本製品につきましては、「第41回 国際福祉機器展 H.C.R.2014（会期：2014年10月1日（水）～3日（金）会場：東京ビッグサイト）」に参考出品します。また、エコソリューションズ社のエイジフリービジネスユニットが取り扱うポータブルトイレ「ラフィーネ」や離床アシストベッド「リショナー®」をはじめとする介護福祉用品もあわせて出展します。

高齢化の進展により、2025年には高齢化率が30%を越える見込みです（出典：国立社会保障・人口問題研究）。これに伴い、介護施設、在宅においても自立を促進し高齢者のQOL（Quality of life）を向上させるための機器が求められています。

この「自立支援型起立歩行アシストロボット」は、高齢者の起立・着座・静止（衣服着脱時）の状態を検知し、足りない力をモーターでアシストすることで移動、移乗、排泄時など的高齢者の自立的動作を支援します。さらに、認知症（日常生活自立度II以上）の高齢者は2025年に470万人となり

（出典：厚生労働省）、特に65歳以上の高齢者の12.8%（人口比）となる見込みです。当社は、電波センサの技術を活用し、非接触で動作状況や離床を検知する「みまもりシステム」により、高齢者や介護者が夜間でも安心して生活できる環境の提供を支援します。

<特長>

●自立支援型起立歩行アシストロボット特長

1. 被介助者の起立・着座・静止（衣服着脱時）などの動作状況を検知し、被介助者の自立的動作を支援
2. 小型・軽量のため、トイレへの移動、移乗、排泄時などの自立的動作を支援。介護者の負担が軽減
3. スリングの着脱が容易なため、急な利用にも対応（スリング：吊り具）

●みまもりシステムの特長

1. ベッドの上での呼吸数、体動の検知による夜間の異常の早期発見を支援
2. センサをベッド下に設置することで、被介助者の心理的負担を軽減

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 エイジフリーBU 新規事業推進

電話：06-6908-2026

パナソニック(株) 介護総合サイト：<http://panasonic.biz/healthcare/elderlycare/>

【特長】

●自立支援型起立歩行アシストロボット特長

パナソニックでは、2000年初頭から、人とロボットの協調を目指すロボットの研究開発を行ってきました。その中でも人間がロボットに直接触れる力をセンシングすることで、人の動作を検知し、それにロボットが協調

する技術は、ロボット研究の中核をなすものです。

これまで、これらの技術を活用し、民生用の分野で安全・安心・アシストをキーワードとする洗髪ロボットやロボティックベッドの研究開発を経て、現在の「リシヨーン」へとつながっています。さらに、ファクトリーオートメーションの分野では、手伝え（てづたえ）教示により、人間が直接ロボットに動きを伝えて、それに基づき動作するパラレルリンクロボットへも技術展開しています。

昨今、高齢化の進展に伴い、介護者の負担軽減、被介護者の自立支援を実現するための機器が必要とされています。パナソニックでは長年研究し続けてきた、人との協調技術を応用し、被介護者の起立・着座・静止（衣服着脱時）などの動作をセンシングし、その際に必要となる力をモーターでアシストする「自立支援型起立歩行アシストロボット」を開発しました。このアシストロボットは、複雑な人の動作をセンシングする技術と、違和感が少なく連続的に動作をアシストするパワーアシスト技術により、被介護者の行動範囲をより広くし、活動的で自立的な生活を支援します。

- (1) 被介護者の起立・着座・静止（衣服着脱時）のなどの動作状況を検知し、被介護者の自立的動作を支援
例えば、ベッドからトイレへ移動する動作を支援するために下記のようなアシストをします。

[1]起立アシスト

被介護者の起立の意図を検知して
足りない力をモーターでパワーアシスト



[2]歩行

スリングで体を安定させた状態でふらつき、
膝折れ等を防ぎ、歩行をサポート。



[3]着座

着座の意図を検知してふらつきや膝への負担を
軽減しながら着座をパワーアシストでサポート



[4]中間状態での静止

排便後の処理のために、中間位置で
保持する力をアシスト。



- (2) 小型・軽量のため、トイレへの移動、移乗、排泄時などの自立的動作を支援。介護者の負担が軽減
- ・サイズ：全幅670mm×長さ825mm
 - ・重量：68kg
 - ・想定使用者：身長：140～180cm 体重：80kg以下
 - ・スリング：布製
- (3) スリングの着脱が容易なため、急な利用にも対応（スリング：吊り具）
スリングは、ワンタッチで本体ロボットに装着可能。また、取り外しも可能なので洗濯も簡単です。

【特長】

●みまもりシステム特長

2025年には、認知症（日常生活自立度II以上）の高齢者は470万人となる見込みです（出典：厚生労働省）。これに伴い、介護施設や自宅などにおいて、特に夜間の徘徊による転倒、転落などの事故が増加することが見込まれます。また、夜間の体調急変などに対する対応も必要となってくるため介護者の負担も増加し、その軽減と介護の質の向上が求められます。

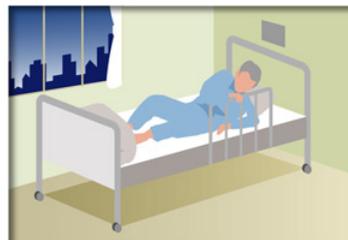
従来のみまもりシステムは、被介護者の体重移動などを検知して、ベッド上での動作パターンを予測するものが中心でした。パナソニックでは、長年培った電波センサや人の動作を検知する技術を応用した「みまもりシステム」を開発しました。ベッドの下に取り付けた電波センサにより、ベッド上の被介護者の呼吸数や体動などをセンシングすることができます。この検知情報を離れた場所にある介護ステーションに送信することで、被介護者の体調急変や離床行動を事前に察知し、適切な処置を取ることができる「先取り介護」が可能になりました。

1. ベッドの上での呼吸数、体動の検知による夜間の異常の早期発見を支援
2. センサをベッド下に設置することで、被介護者の心理的負担を軽減

みまもりシステムの使用事例

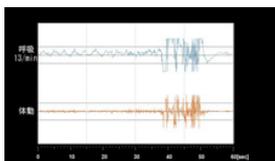


要注意高齢者の体調を遠隔から見守る



徘徊の事前検知・先取り介護

[1]電波センサで呼吸数、体動の検知が可能



[4]センサはベッド下に設置のため、高齢者に心理的負担をかけずやさしくみまもり



[2]検知情報を介護ステーションなどの離れた場所へ送信し、介護スタッフへ連絡

[3]生体情報が危険値を越えると異常検知信号を発報するように、個人別に設定可能



プレスリリースの内容は発表時のものです。商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

ソーシャルメディアアカウント一覧 RSSについて Newsroomについて スマートフォンアプリケーション一覧



個人のお客様 デジタル・AV パソコン・周辺機器 携帯電話 カーナビ/カーAV 生活家電 美容・健康 住まいの設備と建材
 会員サイト CLUB Panasonic 個人のサポート

法人のお客様 ビジネスソリューション 電気・建築設備工ソリューション ヘルスケア 電子デバイス・産業用機器 法人のサポート

企業情報 会社情報 経営の考え方 技術・デザイン 広告・見学施設 歴史 ブランド

ショールーム 主要展示会情報 チャンネルパナソニック Panasonic Newsroom Japan 世界遺産スペシャル 松下幸之助 歴史館

印刷

ページの先頭へ

Area / Country

Copyright © 2015 Panasonic Corporation
 サイトマップ | サイトのご利用にあたって | 個人情報保護方針 | パナソニック・ホーム